

機械・工具・資材

オーファ

チタンでバイクに活気を!

モーターサイクルショー出展

(株)オーファ(千葉県浦安市、細川寿二社長)は3月23日から3日間、東京ビッグサイト(江東区)で開催の「第45回東京モーターサイクルショー 2018」に出展。MOTOGP車種にも採用の同社の「オーファFGチタン」、ワークス車種にも搭載している「FGチタン合金ポルト」やチタン製マフラーを展示した。



チームメンバー(中央上が細川社長)



鈴鹿8時間耐久ロードレース参戦!

同社はチタン製ポルト・加工品の製造・販売及び炭化による改質で、優れた性能・光触媒性能を持たせ、同社独自の表面処理技術「FG処理」を業務としており、モータースポーツの振興・発展にも注力しております。

同社は営業体制の強化を目指し、4月2日に本社(開発営業部・管理部)を移転した。新住所・連絡先は次の通り。

千葉県浦安市美浜1-9-2 パシフィックマックス新浦安2階、電話047-306-4500、FAX047-306-4503

本社を移転

千葉県浦安市美浜1-9-2 パシフィックマックス新浦安2階、電話047-306-4500、FAX047-306-4503

06-45001(どちらにも変更なし)。なお、旧本社(浦安市鉄鋼通り3-1-11※鉄鋼団地内)は「浦安デリアリーセンター」として現状通り、配送・加工業務を継続する。

同社は旧本社が8名、2014年1月から業務を開始している鈴鹿テクニカルセンターが17名体制だったが、2021年の20期(創業20周年)に売上20億円を視野として、昨下半期に鉄鋼団地内や京葉工業地帯に工場・倉庫がある企業が多く事務所を構えるパシフィックマークス新浦安に移転先を決定。新本社に入社した3名が加わり新本社11名、浦安デリアリーセンター3名、鈴鹿テクニカルセンター17名となった。

新本社は東京駅から千葉方面へ向かう京葉線の新浦安駅前で、最寄駅が隣の舞浜駅にある浦安デリアリーセンターへ移動もし易く、全国への営業での出張及び来客の訪問でもアクセスに優れている。

企業向けIoTデバイス ビッグロブ 人の動きを可視化

本デバイスを活用することで、企業は人の動きを可視化する行動センシングで生産性を向上させたり、車の運行状況を把握し効率化をはかるなどIoT業務を容易に実現可能。また、クラウドやAIとスムーズな連携ができるほか、多様な業務に1台で対応できるマルチデバイスとしても利用できる。

「BLI02」は約102gの小型ボディに2.8インチディスプレイを搭載したAndroid端末で、10軸センサーやGPSを搭載し、単体で位置情報や加速度、気圧データなどを収集できるほか、Bluetoothや無線LANで各種センサー

ロビーや応接室兼会議室では、チタン製品のサンプルが展示され、バイクレースの様子が描かれた水墨画も掲げられている。



ロビー

別開